

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
住生活論	木下 誠一	講義	2	建築士	1, 2, 3	1, 3	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	人間の生活にとって欠かせない存在である住まいが、風土や家族、社会的・文化的条件など、生活を取り巻く諸条件との関係によって、これまで歴史的にどのように形成されてきたかについて学び、今日の家族形態の多様化や高齢化、情報化などをふまえた住まいのあり方について理解を深める。						
到達目標	現代の住生活が抱える課題を理解し、今後の住生活のあり方について考察する力を身に着ける。						
回	学習内容						
1	住まいと風土 (1)世界の住まい						
2	住まいと風土 (2)日本の住まい						
3	住まいの歴史 (1)近代以前						
4	住まいの歴史 (2)近代以降						
5	住まいと生活様式 (1)起居様式						
6	住まいと生活様式 (2)食事・入浴慣習						
7	住まいと家族 (1)ライフスタイル						
8	住まいと家族 (2)ライフサイクル						
9	住まいの快適性 (1)室内環境						
10	住まいの快適性 (2)維持管理						
11	住まいの快適性 (3)福祉						
12	住まいと地域 (1)コミュニティ						
13	住まいと地域 (2)共同秩序						
14	住まいと地域 (3)団地再生						
15	まとめと確認						
予習内容 復習内容	予習：講義のテーマ毎に関連した文献等に目を通す。 復習：講義資料を読み返し、要点をまとめ、疑問点を調べる。						
教科書	教科書は使用しない。講義ごとに資料を配付する。						
成績評価	出席を毎回取る。6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。 講義のテーマ毎に実施するレポートにより評価する（100％）。						
実務経験	一級建築士として建築設計事務所に勤務した経験を活かし、授業では実践的な計画・設計手法についても講義する。						
その他 特記事項							